

松山空港

【実施主体：個社】

松山空港

取組事項	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 賃上げを含む処遇改善に不可欠な受託料の引き上げ</p>	外航受託料の引き上げ	本社にて、外航受託料の引き上げ交渉を実施。	
	自社グループ空港運営会社への委託料の引き上げ	本社にて、自社グループ空港運営会社の処遇改善の原資として委託料の引き上げを実施。	
	総代理店への委託料の見直し	本社にて、R5年度契約料の引き上げを実施。R6年度契約料の見直し検討に着手。	
	検査会社への委託料の見直し	本社にて、R5年度に引き続きR6年度契約料金の引き上げを実施。	
	委託先との契約金額の見直し	処遇改善含む賃上げ等、委託先社員の還元を前提として、委託先とのFY23契約金額に値上げを反映し実施済み。	<p>【委託費改定率】 グループ内各社：平均+3.9%（FY22対比） グループ外委託先各社：平均+6.2%（FY22対比）</p>
<p>【短期】 人材確保にマイナスに働く受託契約の内容の適正化（キャンセル料の設定 等）</p>	外航受託契約条件の見直し	本社にて、最低保証条項の導入検討に着手。	
	検査会社への委託契約条件の設定	検査会社への委託契約に時間保証を継続して設定。	
	委託先の人材確保を下支えするための契約条項追加	最低保証料金の設定や品質連動制度等、委託先の経営の下支えやモチベーション向上に繋がられるような契約条項について、順次追加設定を進めている。	
<p>【短期】 職場環境改善に向けた取組の推進</p>	職場環境課題の定期的なヒアリング	本社にて、全国空港所長による定例会議等を通じ毎月職場環境課題の集約を実施。対応を検討中。	

【短期】 職場環境改善に向けた取組の推進	職場環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全社員へアンケート(Google Forms)実施 ・ 職場改善検討委員会発足 ・ 休憩スペースへの電子レンジ増設。 ・ 男性更衣室へのカーテン設置。 ・ 社員用駐車場確保に向けた交渉中。 ・ 会議室確保に向け調整中。 	
	社員寺子屋の開催（エンゲージメント向上施策/人材育成）	出向者、エリアコーディネーター、男性育児休暇取得者が自身の経験をプレゼンし、意見交換することで、広く周知し興味関心を持ってもらう。	
	Family Dayの開催（エンゲージメント向上施策）	社員およびご家族を対象にBBQや大運動会を開催し、社員のエンゲージメント向上やご家族に会社のことを知ってもらう機会を設ける。	
	委託先の要望聞き取り実施	今後空港WGでのMTG開催を依頼予定	
	職場環境課題の定期的なヒアリング	本社にて、全国空港所長による定例会議等を通じ毎月職場環境課題の集約を実施。対応を検討中。	
	ダイレクトトークの実施	課長が他部署に赴き、自部署の紹介や自身の失敗談、意見交換などを行い、社員の他部署への興味関心や個々人のキャリアパスにつなげる。 →12回実施（課長6名が上期下期1回ずつ）	
	処遇の改善	R5年度ベースアップ、初任給アップ、公休数増を実施。	
【短期】 職員負担の集中を回避するための正確な現状把握	生産量ならびに生産対応状況の把握	本社にて、自社グループ会社の生産対応状況を毎月把握。	
	生産量ならびに生産対応状況の把握	本社にて、総代理店の生産対応状況を毎月把握。	
	生産量ならびに生産対応状況の把握	生産対応状況を毎月把握。	
【短期】 適切な業務量調整による高負荷の抑制	正社員領域、派遣領域の見直し	複便、増便に伴う職員負担増の軽減のため、正社員領域の見直しを実施。一部業務については、派遣社員等も活用し、業務量（職員負担）を調整。	
【短期】 採用活動の推進（グラハン経験者採用の強化（Uターン・Iターンの活用）等）	ワークプレイス制度の実施	自社グループとしてリテンションを図るべく、働く場所の事情に応じたグループ内転籍制度の運用を実施。	R5.4以降 90名程度応募あり（グループ全体）

【短期】 採用活動の推進（グラハン経験者採用の強化（Uターン・Iターンの活用）等）	既卒採用の実施 ※高卒まで間口を広げる	掲載開始：23年8月18日～ 書類選考：23年9月29～10月9日 一次選考：23年10月中旬 最終選考：23年10月下旬 入社：24年1月予定 →既卒6名採用（うち高卒1名）	
	自社グループ空港業務採用情報の特設サイトを公開	空港業務の幅広さや魅力を発信し、グループ各社への応募者増や委託先各社の採用機会に繋げるため、空港業務の採用情報に特化した特設サイトを公開	https://www.job-jal.com/airport-recruitment/
【短期】 教育期間の短縮に向けた工夫（実践技術に特化した訓練等）			
【短期】 需要回復の進捗状況に応じた、限られたリソースの集中的な投入	空港間の応援派遣	需要回復に対応するため、空港単体でのリソースで対応が難しい場合には、他空港からの応援者を派遣することでリソース不足を解消。	
【中期】 長期に誇りを持って勤められるキャリアパスの整備	グループ内異動の公募の実施	空港横断的な配置によるキャリア形成を支援すべく、空港部門内でのグループ会社間異動の公募を実施。	R6.4より公募合格者の配置を実施予定（8名程度）
【中期】 ハード・ソフトの両面からの職場環境改善の推進	施設・設備の改善	休憩室の改善を実施。	
	貸与品の改善	より快適な制服（ポロシャツ）やヘルメット、タブレット使用も可能な高機能手袋の購入。 個人のニーズを踏まえた貸与ルールへの改善。	R6年度より配備予定
	施設・設備の改善	休憩室、更衣室、通信環境等の現状調査、および改善を実施。	
	処遇改善を前提とした生産計画	公休増、有休取得増を前提とした生産計画を実施。	R6年度よりグループ空港会社全体で公休＋6日として計画。
	処遇改善を前提とした生産計画	・公休増および外航の復便を見据えて採用数を増加。 当初計画22名→33名（FY24.1月中途/キャリア含む）	
【中期】 特定技能制度の積極的な活用			

【実施主体：空港会社等】

松山空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】 空港内の労働環境の改善			
【短期】 空港の知名度を生かした採用活動			
【短期】 マルチタスクを担うことができる空港人材の育成に向けた研修			
【短期】 空港WGの活用推進			
【中期】 GSE車両の共用化・共有化の推進			
【中期】 男女比の極端な偏りの解消に向けた取組推進（「旅客は女性」等のイメージの払拭、更衣室等の施設整備等）			

【実施主体：地方自治体】

松山空港

取組事項	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 地元グラハン会社・検査会社とのコミュニケーション強化（人員体制等の正確な現状把握等）</p>	<p>地元グラハン会社との協議</p>	<p>国際線の運航再開や新規就航に必要な受入体制の早期整備に向けた課題整理や支援策の検討を実施。</p>	
<p>【短期】 空港業務は地域の雇用を支える地場産業であるという観点から、部局横断的な連携の下での取組の実施</p>	<p>県が運営する公式求人情報サイトへの求人情報の掲載</p>	<p>県が運営する公式求人情報サイト「あのこの愛媛」や、「愛workナビ」に松山空港グラハン事業者の求人情報を掲載。</p>	
<p>【短期】 空港業務支援も誘致支援の一部と位置付けた上での関係部局（観光、産業振興 等）と連携した支援の実施</p>	<p>グラハン事業者に対する受入体制の整備支援</p>	<p>グラハン事業者による国際線受入体制の早期整備に対する補助事業の実施。</p>	
<p>【短期】 空港WGの活用推進</p>			
<p>【中期】 地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の検討（空港アクセスの不便さ等を考慮した住居支援、通勤支援 等</p>	<p>松山空港関連事業者の人材確保や職場環境整備に向けた支援</p>	<p>令和5年度地方空港等受入環境整備事業費補助金を活用し、松山空港関連事業者合同採用ホームページ及び魅力発信動画を制作するとともに、従業員トイレの改修に対する補助事業を実施。</p>	
<p>【中期】 特定技能の在留資格を有する外国人が地域に馴染むための環境整備</p>			

【実施主体：国】

取組事項	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】 各地の空港におけるベストプラクティスの横展開（事例収集・整理 等）	公表されたベストプラクティスの空港WGへの展開・周知。	公表された「持続的な発展に向けた空港業務に係る取組事例集」を空港WGへ展開・周知。	
【短期】 地域の意欲的な取組への積極的な協力（空港説明会への参画等）	県内の学校を対象とした空港見学の実施	航空会社の社会・地域貢献活動に基づき、将来の空港のグランドハンドリング人材確保等に向けた空港見学会の実施の協力。	
	グランドハンドリングスタッフの取材に対する制限区域等の立ち入り許可実施、マスコミ等に対し制限区域等における注意喚起等	不足するグランドハンドリングについて、カウンターや出発ロビー及び駐機スポットで業務に従事しているスタッフを中心に、取材を行い南海放送局において特集として報道。	
	県内の学校を対象とした空港見学の実施、空港近隣の騒音防止区域等住民に向けた滑走路ランウェイウォーク実施	航空会社の社会・地域貢献活動又は国が主体となり、将来の空港のグランドハンドリング人材確保等に向けた空港見学会（制限区域等の立ち入り含む）の実施の協力。	
【短期】 生産性向上・業務効率化の実現に向けた取組支援（先進機器の整備補助 等）	地方空港等受入環境整備事業費補助金（航空・空港人材確保等緊急対策及び業務効率化）	松山空港WG構成員に向け航空・空港人材確保及び業務効率に資する新規採用者の教育・訓練費及び先進機器等の導入について、費用補助制度の周知を実施。	
【短期】 各主体による取組の重要性の発信	「空港業務の持続的な発展に向けたビジョン」の再周知	「空港業務の持続的な発展に向けたビジョン」について、各主体の取組の更なる浸透を図るため空港WGを開催し再周知。	
【短期】 空港WGの活用推進	課題整理及び対応可能な課題の取組実施	空港WGを通じ、各社が抱える問題等を共有し課題整理を行い、対応可能な課題について取組実施。	
	地方空港等受入環境整備事業費補助金（航空・空港人材確保等緊急対策及び業務効率化）	松山空港WG構成員に向け航空・空港人材確保及び業務効率に資する新規採用者の教育・訓練費及び先進機器等の導入について、費用補助制度の周知を実施。	

<p>【中期】 空港DXの導入促進に向けた実証実験</p>	<p>他空港の導入事例等の横展開</p>	<p>空港WGにおいて航空局HPに掲載されているベストプラクティス等の他空港事例について横展開を行った。</p>	
<p>【中期】 更なる支援措置等の検討（人材確保・育成、業務効率化、GX/DX等）</p>			